

ちよふ

C H O F U C I T Y N E W S

平成24(2012)年4月20日

No. 1427

CONTENTS (主な内容)

- 新たな調布市基本構想(案)がまとまりました ……2
- 市長と語る「ふれあいトーク」 ……2
- 第66回 緑と花の祭典 ……3
- 国民健康保険特定健診を受診しましょう ……3
- 外国人の方へ「仮住民票記載事項通知書」を送ります ……4
- 児童に関する手当・医療費助成制度 ……6・7

発行:調布市 ■所在地:〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1 電話の掛け間違いにご注意ください
 編集:行政経営部広報課 毎月5日・20日発行
 調布市ホームページ <http://www.city.chofu.tokyo.jp/>

市役所 ☎042-481-7111

「市報ちよふ」は市内全戸に配布しています
 調布市市民防災情報メールに登録を



～4月の第4土曜日は～

調布市防災教育の日

今年は
4月28日(土)

問合せ
教育総務課 ☎481-7465

教育委員会では、実効的な防災教育の充実と、昨年10月に策定した「震災時対応シミュレーション」の検証を図り、震災時に即応できる体制づくりと学校と地域の連携を高めることを目的として、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と決めました。

今年から、学校と保護者・地域の皆さんが一体となった防災教育、避難所開設・運営訓練などの防災訓練を実施するとともに、「震災時対応シミュレーション」の検証を市立小・中学校28校で一斉に実施します。最寄りの各小・中学校へ多くの皆さんの参加をお願いします。

「調布市防災教育の日」1日の流れ(例)

※誰でも参加できます
 ※学校の取組内容は、各学校のホームページをご覧ください

時 程	児童・生徒	保護者・地域の方
1校時	通常授業	(授業公開)
2校時	特別活動・道徳など	①「命」の授業参観
3校時	通常授業	②保護者・地域啓発の講話
4校時	③避難訓練、保護者引き渡し訓練、避難所開設訓練	
午後0時 15分以降	④地域と一体となった防災に関する活動	

- ①「命」の授業を実施
 例・命の尊さ、大切さを考える授業(道徳)
 ・地震災害時の安全な行動様式を身につける授業(特別活動)
- ②防災について保護者・地域啓発の講話
 (講話) 大規模災害発生時の保護者としての役割と「震災時対応シミュレーション」についてなど
- ③「震災時対応シミュレーション」の検証
 午前11時24分 防災想定(震災時対応シミュレーション通り)
 引き渡し訓練、避難所開設訓練を行いシミュレーションの検証
- ④各学校の工夫により地域と一体となった防災に関する活動
 ・地域と連携した避難所運営訓練。備蓄倉庫内備蓄品の確認、使用法の実践(組立トイレの組み立て訓練、アルファ米を使用しての炊き出し訓練)など
 ・児童、生徒を対象とした普通救命講習など



避難所一覧(市立小・中学校)

名 称	所在地	名 称	所在地
第一小学校	小島町1-8-1	杉森小学校	染地2-25-4
第二小学校	国領町4-19-1	飛田給小学校	飛田給3-29-1
第三小学校	上石原2-19-13	柏野小学校	深大寺南町1-1-1
八雲台小学校	八雲台1-1-1	国領小学校	国領町8-1-55
富士見台小学校	小島町3-20-1	布田小学校	染地1-1-85
薄坂小学校	東つじヶ丘1-4-1	調和小学校	西つじヶ丘4-22-6
深大寺小学校	深大寺元町5-16-21	調布中学校	富士見町4-17-1
上ノ原小学校	柴崎2-26-1	神代中学校	佐須町5-26-1
石原小学校	富士見町1-37-1	第三中学校	染地3-2-7
若葉小学校	若葉町3-17-5	第四中学校	若葉町3-15-1
緑ヶ丘小学校	緑ヶ丘2-16-1	第五中学校	上石原3-27-1
染地小学校	染地3-1-81	第六中学校	国領町3-8-23
北ノ台小学校	深大寺北町2-41-1	第七中学校	八雲台2-16-1
多摩川小学校	多摩川3-21-1	第八中学校	仙川町2-15-2

避難所運営マニュアル作成のためのガイドライン

市では、災害時により円滑な避難所運営を実施するため、事前に、地域の方や学校と協力して避難所ごとの運営マニュアルを作成していきたいと考え、避難所における基本的なルールやマナー、運営に必要な業務内容などをまとめた避難所運営マニュアル作成のためのガイドラインを策定しました。

ガイドライン公表場所
 市のホームページ、総合防災安全課(文化会館たづくり西館3階)、各図書館・地域福祉センターなど

問合せ/総合防災安全課 ☎481-7346

調布市長
長友貴樹

4月28日が近づいてきた。教育委員会は、今年度から4月の第4土曜日を「防災教育の日」とし、全28公立小中学校において一斉に児童、生徒を対象にした防災教育と防災訓練を実施することを決定された(註)。

その内容は、①「命」の授業を保護者・地域への公開により実施、②保護者・地域への啓発を目的とした、防災にかかわる講話または講演会等の実施、③訓練を通じた「震災時対応シミュレーション」の検証などとなっている。

昨年の東日本大震災発生以後に、市民の安全確保を目的として公立小中学校を中心に避難所のあり方、特に負傷した方の生死を分けると言われている開設後3日以内の避難所運営の指針を地域の特性も加味して定めたものが、前記シミュレーションだ。その内容をもとに実施される今回の訓練は、地域一体型の防災活動の側面も有している。

その他、年度を通して小学校6年生および中学校3年生全員を対象とした「普通救命講習」も実施することとしている。

平時に、首都直下型大地震等の激甚災害を想定して実効ある訓練を行うことは極めて難しい。しかし、今回の新たな訓練を含めて、今年度以降もあらゆる手だてを尽くして全力で態勢の強化に取り組んでいきたい。

手をつなぐ樹 193
 全国初一斉訓練

註=市内公立小・中学校で防災訓練を一斉に実施することは全国初。

